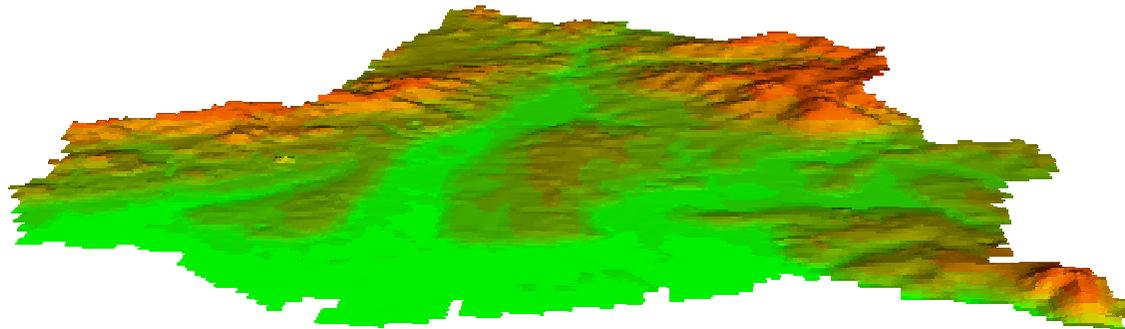


平成9年度卒業研究

メッシュデータを用いた 地域景観の類型化と その特性に関する研究

合澤 憲陵
0636058

佐藤 章
0536021



研究の背景と目的

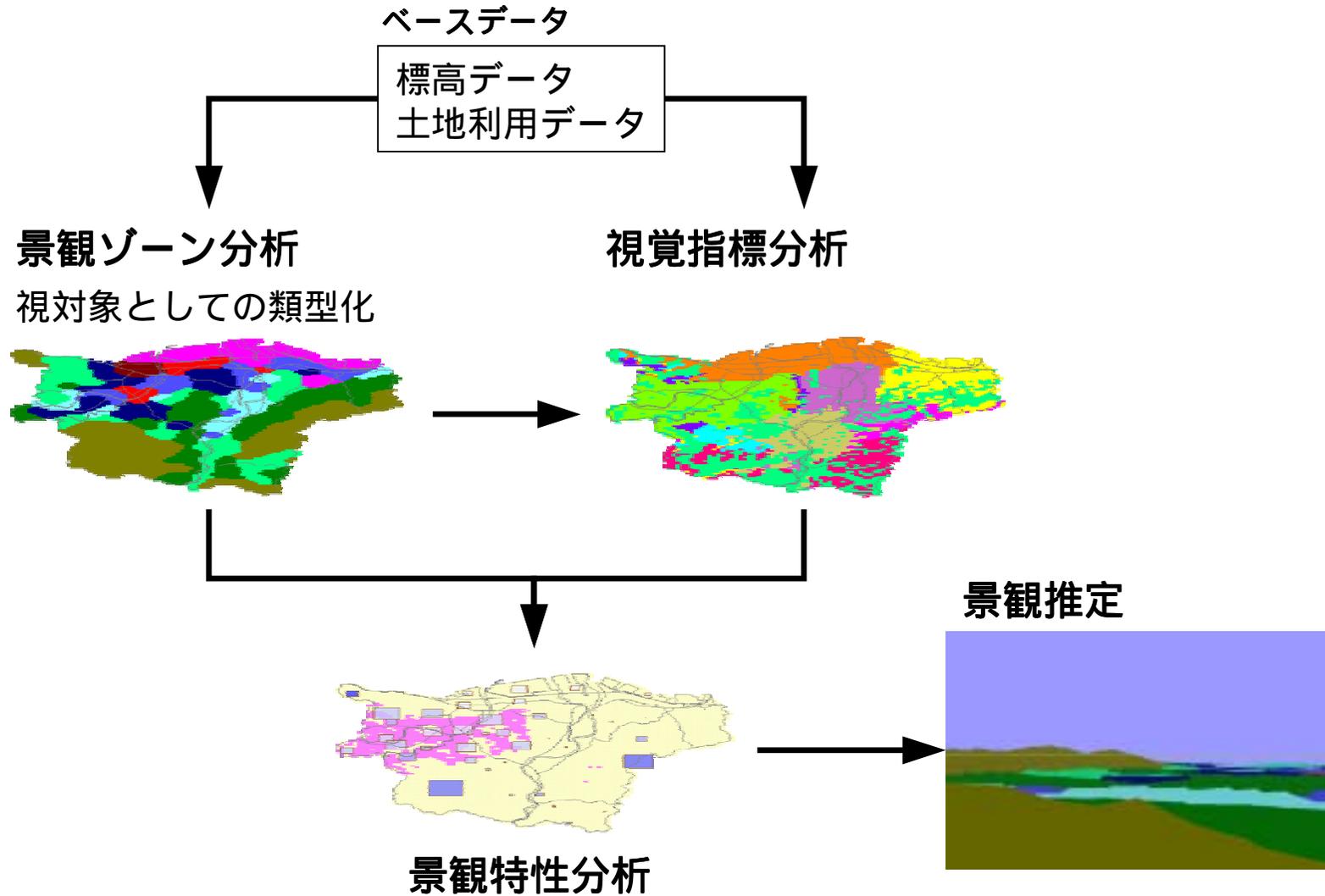
- 都市レベルでのマクロ的景観では
地区的な景観把握が重要
- 景観把握の客観性確保は難しい問題



- 数値データを解析的に用いることによって
客観的に景観類型を把握し、その特性を論じる

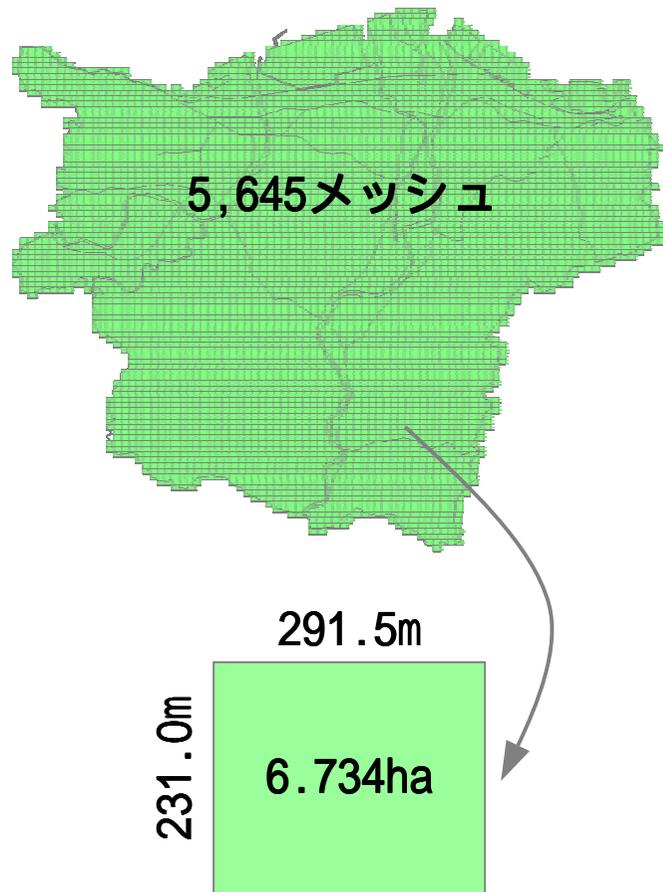
研究の概要

分析の対象＝大分市

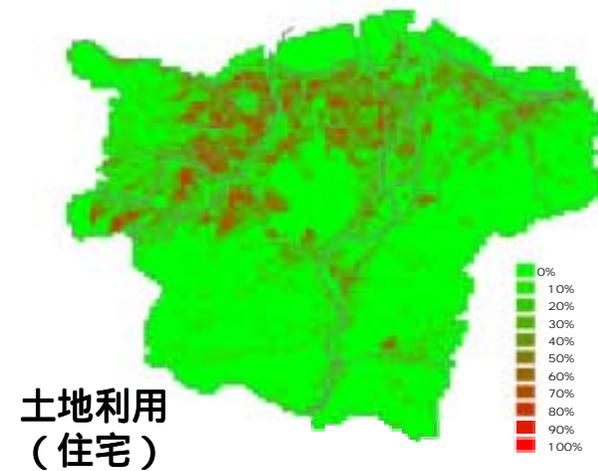
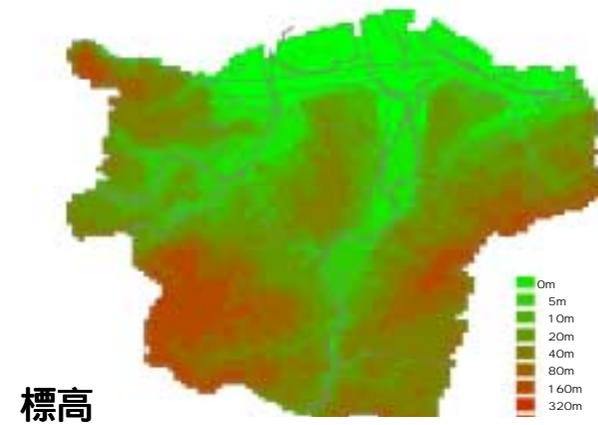


メッシュデータについて

□ 大分市を構成するメッシュ



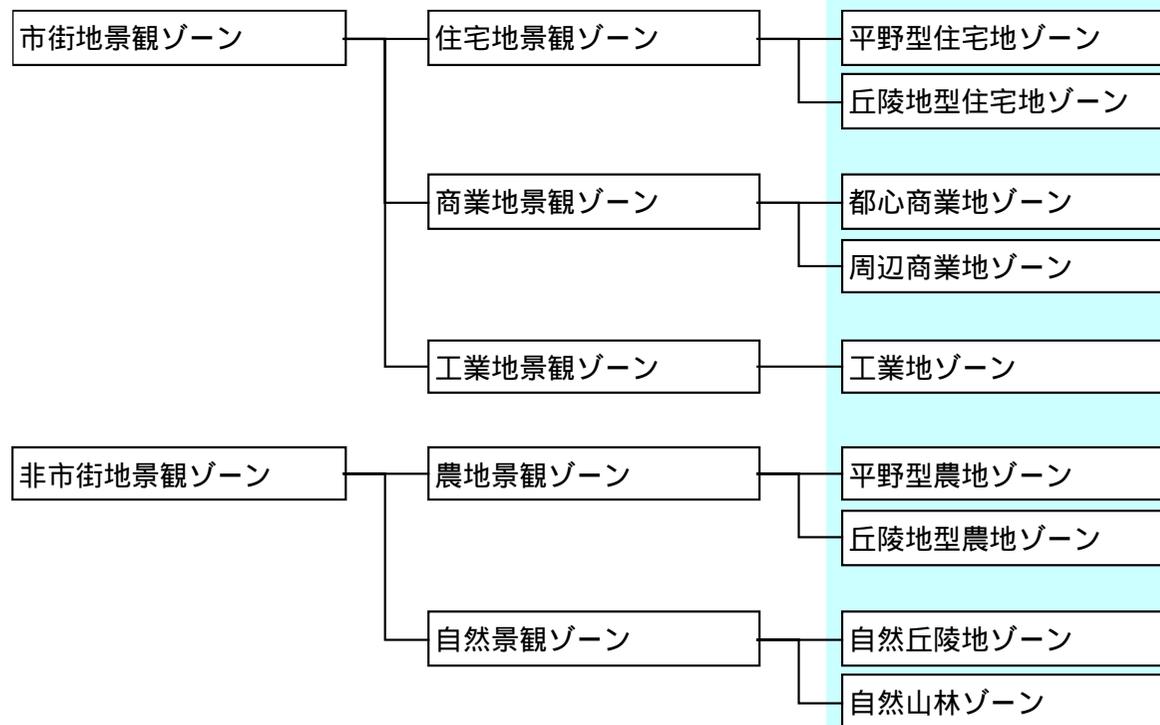
□ ベースデータ



景観ゾーン分析 : 1

景観ゾーン = 視対象としての類型
 地域景観を構成する面的要素

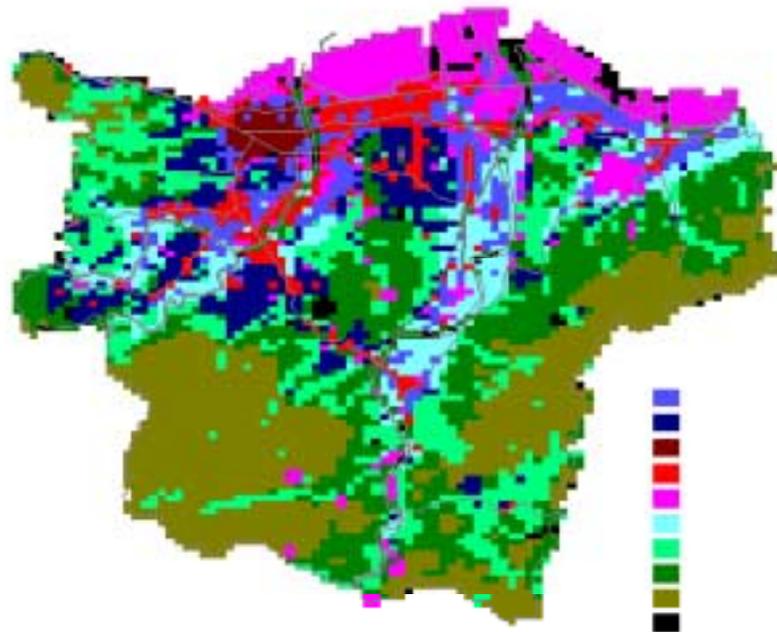
ゾーン区分



景観ゾーン分析 : 2

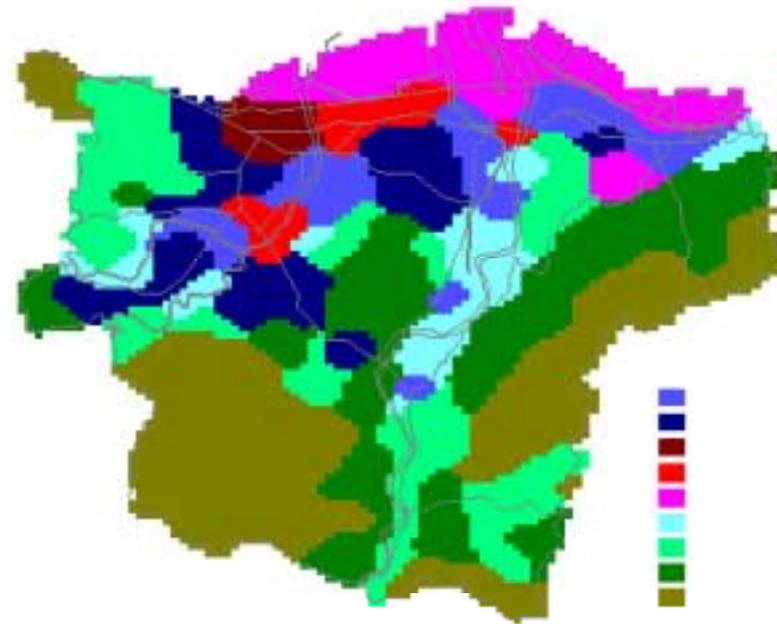
□ 1次判定

メッシュ毎に
標高・土地利用を用いて
一定の条件で分類する



□ 2次判定

隣接メッシュの区分を条件に
独立した、ひとまとまりの
ゾーンを形成する



視覚指標分析 : 1

- 視点場としての類型化
- 景観ゾーンに対する可視率による多変量解析

分析データ

メッシュ No	変量：ゾーン可視率(%)			
	00	02	...	84
0	0.00	0.00	...	0.00
1	0.00	0.00	...	0.00
2	0.00	0.00	...	0.00
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
5644	4.21	72.43	...	0.00

5645

49



因子分析



因子

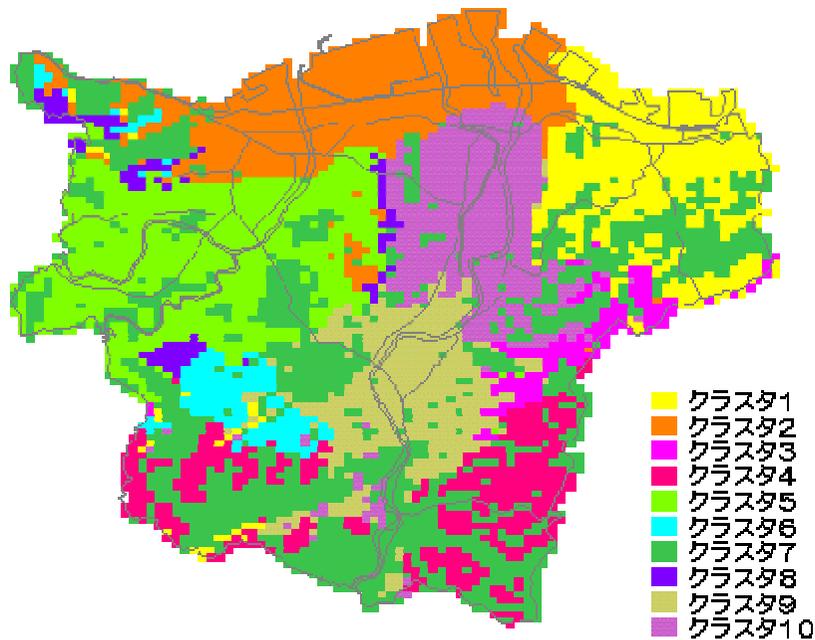
クラスタ分析



視点場クラスタ

視覚指標分析 : 2

視点場クラスタ



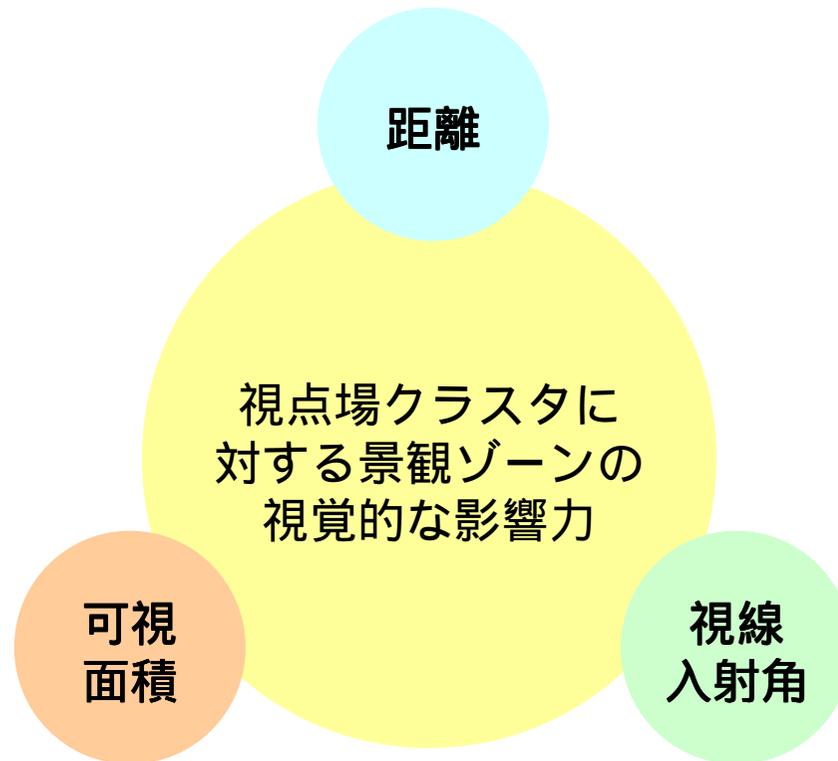
平均可視率と眺望タイプ

各視点場クラスタからの
市域全体への平均可視率

クラスタ	平均可視率(%)	タイプ
1	13.65	
2	17.14	
3	37.55	
4	9.56	
5	11.20	
6	32.49	
7	4.00	
8	36.35	
9	13.10	
10	14.27	

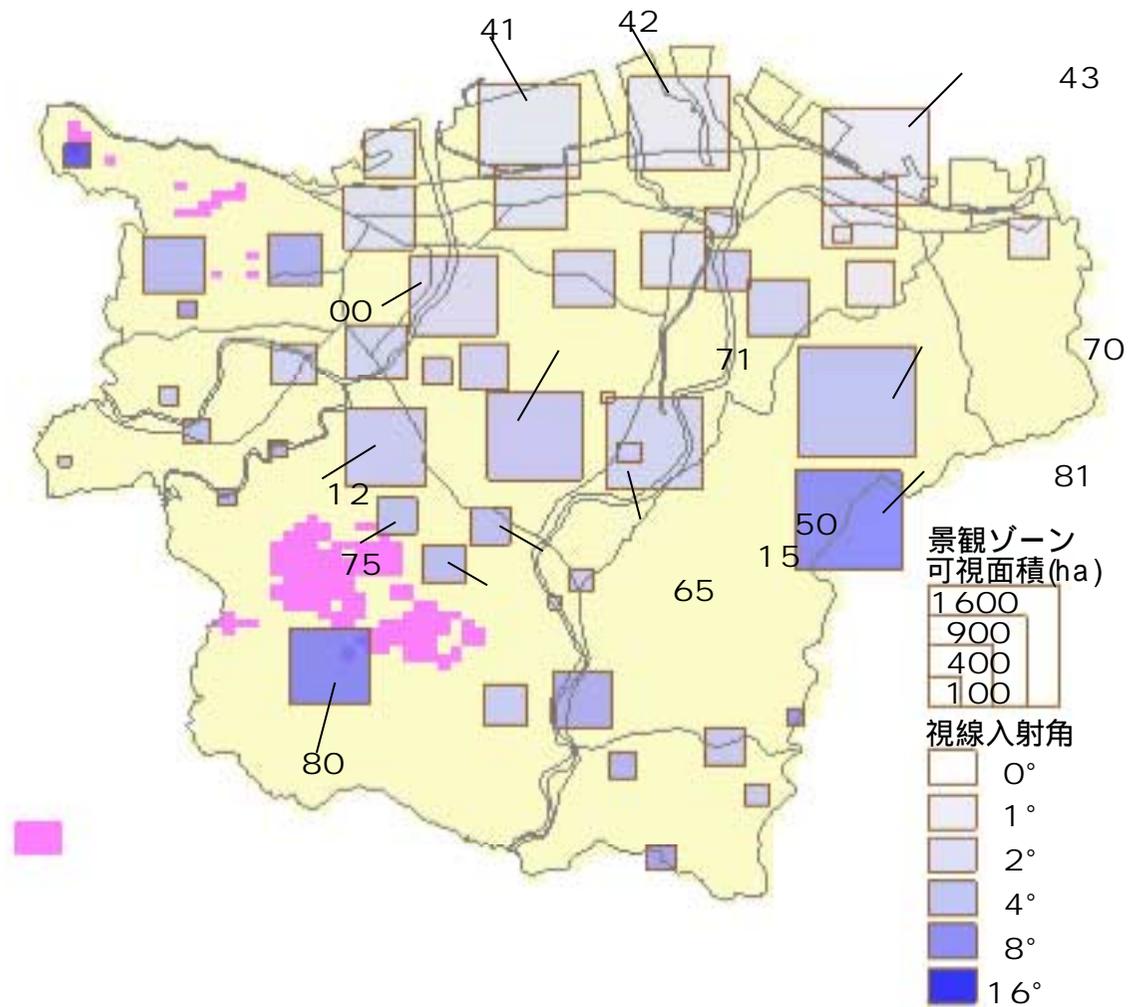
景観特性分析 : 1

- 距離、可視面積、視線入射角の3指標を用いて
景観ゾーンと視点場クラスタの関係を評価



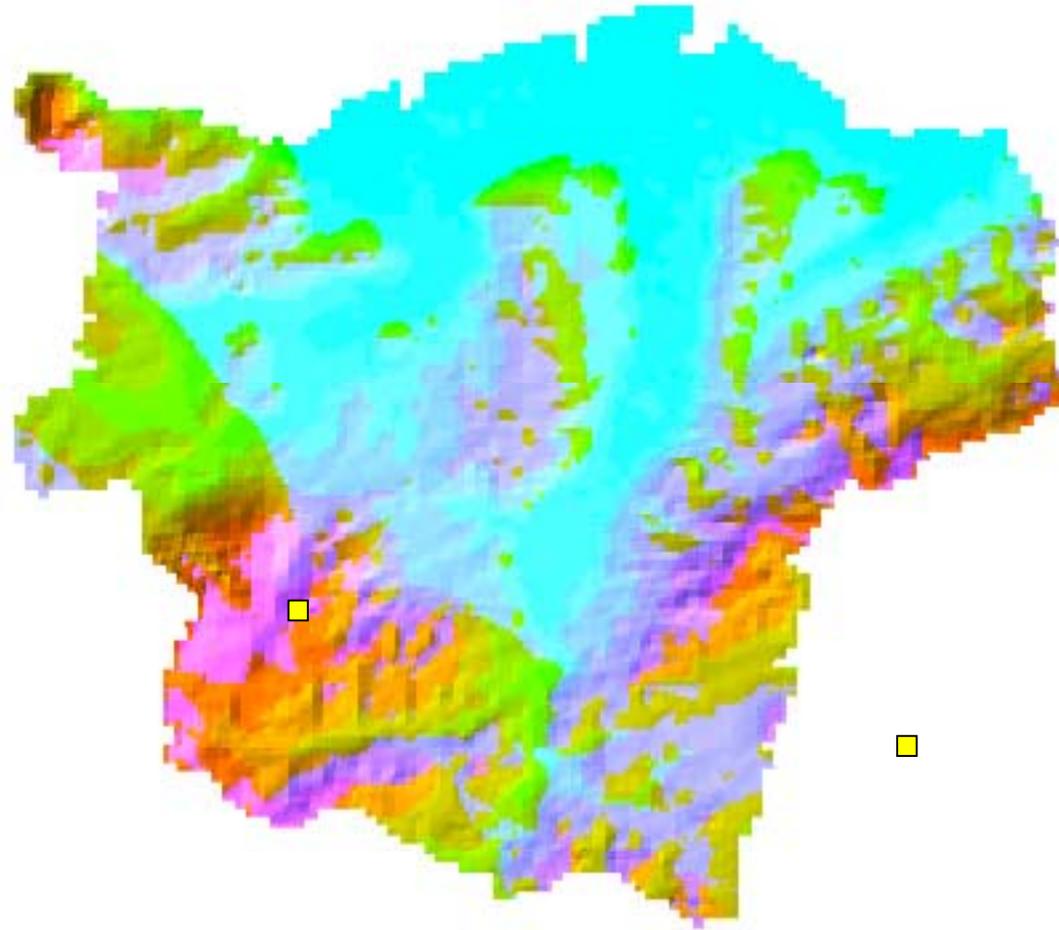
景観特性分析：2

■ 祖谷地区マップ～カヌエタム・広域眺望タイプ

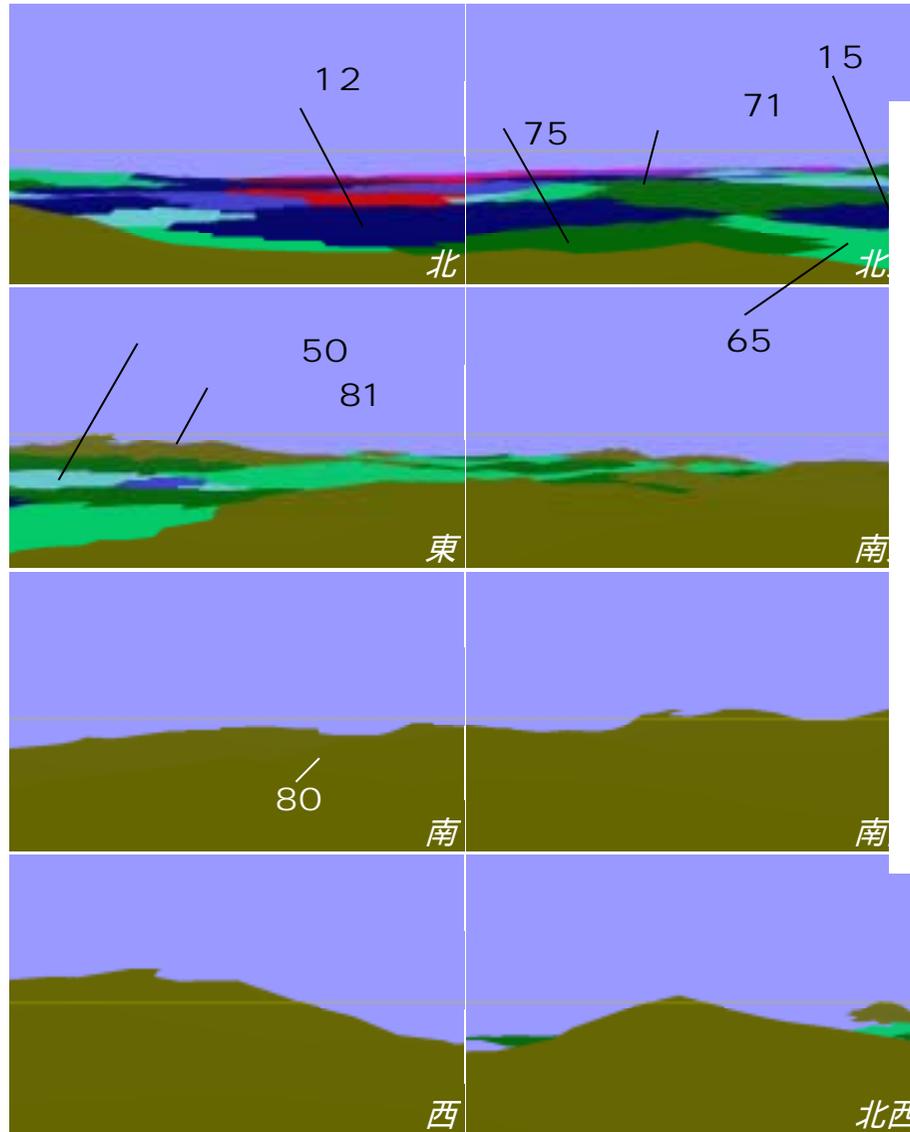


景観特性分析 : 3

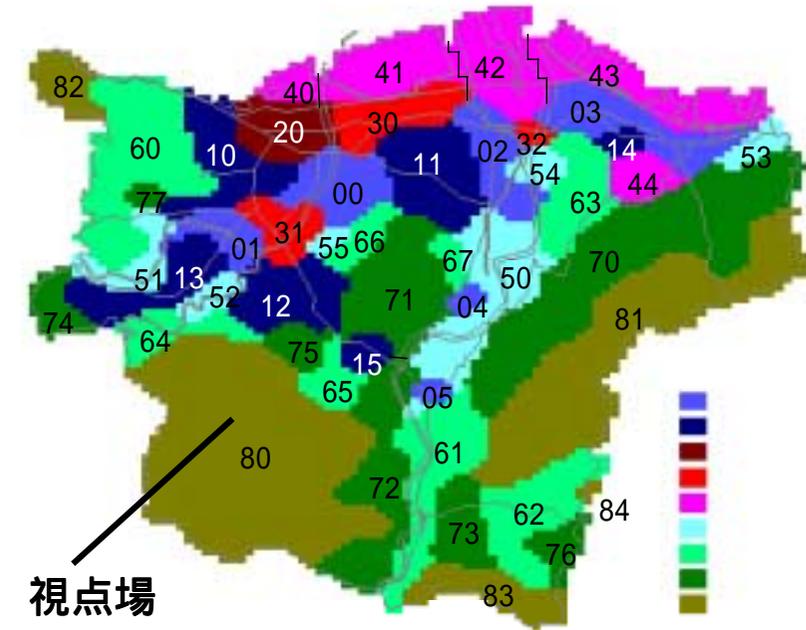
- 可視領域～クラスタ5：本宮山付近
市域の大半に対して可視領域が広く広がっている



景観特性分析 : 4



景観推定～クラスタ5：本宮山付近



研究の総括

- 景観ゾーン分析によって景観を構成する面的要素として、9の地区類型と49のゾーンを得た
- 視覚指標分析によって、視点場としての類型である10の視点場クラスタを得ることができた
- 景観特性分析によって、景観ゾーンと視点場クラスタの関係を把握するとともに、景観に大きな影響を与えるゾーンを認識することができた。